

協働事業計画評価書

事業者名	地区名	対象品目	計画内容	到達目標	現状値 (%):R元	目標値 (%):R5	実績値(%)					達成率 (%)	検証方法	地方農政局等による評価
							R1	R2	R3	R4	R5			
拠点事業者 トミイチ九州株式会社	鹿児島県 鹿屋市	野菜(大根、南瓜、馬鈴薯等)	【1 生産安定・効率化機能】 ①産地拡大のための研修 ②アグリサポートの為に農業機械リース等 【2 供給調整機能】 ①冷蔵庫500t、冷凍庫500tの倉庫活用 【3 実需者ニーズ対応機能】 ①加工拠点の為に設備投資、産地形成、体制構築 ②トレーサビリティ管理システムの導入	①取扱数量について現状から10%以上向上	0%	27%	0%	0%	12%	19%	44%	162.9%	(44%-0%)÷(27%-0%)×100=125.9% ... 算出方法:(実績値-現状値)÷(目標値-現状値)×100	<ul style="list-style-type: none"> 供給調整機能を有する施設における取扱数量を44%向上させており、目標を達成している。 総出荷量に占める加工業務用向け出荷量割合を年平均20ポイント増加させており、目標を達成している。 輸取出組については、令和4年度から開始して目標を達成している。 <p>なお、協働事業計画において、拠点事業者が具備すべき三つの機能の全てについて強化を図ることとされているところ。取組状況は以下のとおり。</p> <p>【1 生産安定・効率化機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、加工栽培方法の現地研修が計画通り実施できなかったが、令和4年度に補完的対応として、大隅地域振興局曾於畑地かんがい農業推進センターが主催する研修会に参加し、南瓜の生産管理方法や生産技術のノウハウ等の説明を行っている。 圃場契約でkgあたり単価の契約の為、相場に左右されない安定的な収益を得られている。 原料出荷は土付きで鉄カゴ(通称:鉄コン)に入れて出荷出来る為、収穫時の作業軽減が可能となるうえ、鉄カゴはトミイチ九州で用意する為、生産者は資材費の負担がない。 出荷時の原料の配送はトミイチ九州で手配する為、生産者は農作業に集中出来る。 上記取り組みにより、生産者は作付け面積の拡大が可能となっている。 <p>【2 供給調整機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貯蔵施設(冷凍保管庫)を新たに整備し、既存の原料庫とともに販売計画に合わせてフル活用した調整出荷が実施されている。 <p>【3 実需者ニーズ機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティ管理システムを導入し、原料仕入状況、製品製造の受払状況、在庫管理、賞味期限等の商品管理が可能となった。 このシステムの導入により、実需者に対して、商品の生産者情報や製造情報を提供でき、安心安全な販売環境が構築できている。 また、クレーム処理に対する対応も迅速にできるようになり、実需者からの評価を受け販売数量の上昇に貢献している。
その他の拠点事業者 北海道エアー・ウオーター・アグリ株式会社(旧(株)トミイチ)	北海道 旭川市													
その他の拠点事業者 株式会社AWジェイド	北海道 旭川市													
連携者1 鹿児島きもつき農業協同組合	鹿児島県 鹿屋市			②総出荷量に占める加工業務用向け出荷量の割合を年平均3ポイント以上増加(かつ目標年度までに輸向け取組を開始)	0ポイント	20ポイント	0ポイント(輸出0kg)	0ポイント(輸出0kg)	70ポイント(輸出0kg)	78ポイント(輸出50kg)	100ポイント(輸出800kg)	100%	(100p/5カ年-0p)÷(20p-0p)×100=100% ... 算出方法:(実績値-現状値)÷(目標値-現状値)×100	
連携者2 JA宮崎経済連営業開発課	宮崎県 宮崎市													
連携者3 JA肝付吾平町	鹿児島県 鹿屋市													
連携者4 松元農園(松元勇一)	宮崎県 児湯郡川南町													
連携者5 大分県庁農林水産部おおいブランド推進課	大分県 大分市													
連携者6 (株)つかさ農園	熊本県 上益城郡御船町													

事業評価書

拠点事業者：トミイチ九州株式会社

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和元年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (整備事業)	123.1%	冷凍加工野菜の原料仕入れを全て圃場契約とし、出荷は土付きのまま鉄カゴ(通称:鉄コン)に入れる方法を採用のうえ、鉄コンと集荷用配車はトミイチ九州で準備することで生産者の労力と資材費の負担減に貢献し、契約取引数量を増大させて目標を達成した。 成果目標：基本契約を締結している生産者と中間事業者の間の取引数量を10%以上増加。 現状値：0t(令和元年度) 目標値：3,404t 実績値：4,192t(令和5年度)
	99.6%	事業を活用して貯蔵施設(冷凍保管庫)を新たに整備し、既存の原料庫とともに販売計画に合わせてフル活用した調整出荷ができるようになったため、加工・業務用向け取扱数量の増加が実現され、ほぼ目標を達成した。(一部市場出荷あり) 成果目標：総出荷量に占める加工・業務用向けの割合を年平均3ポイント増加 現状値：0t(令和元年度) 目標値：3,140t 実績値：4,178t(令和5年度) 総出荷量：4,192t(令和5年度)
令和元年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (推進事業)	143.4%	トレーサビリティ管理システムを導入し、原料仕入状況、製品製造の受払状況、在庫管理、賞味期限等の商品管理が可能となり、実需者に対して商品の生産者情報や製造情報を提供でき、安心安全な販売環境が構築され、クレーム処理に対する対応も迅速にできるようになったため、実需者からの評価を受け販売数量が上昇し目標を達成した。 成果目標：販売額の10%以上の増加 現状値：0千円(令和元年度) 目標値：468,000千円 実績値：671,314千円(令和5年度)

※小数点第1位まで記載する